

# ペシャワール会報

No. 9



中村哲医師 1985年度活動報告…(2) 1985年度決算報告…(3) J O C S とペシャワール会のつながり…(4) 講演会と総会のご案内…(5) 帰国スケジュール…(6) 事務局の活動報告…(7) 会員のみなさまから…(8)

ペシャワール会は1983年9月、中村医師のパキスタンでの医療活動を支援する目的で結成されました。彼の活動を支援するとともに、アジアの人々についての理解を深めていきたいと願っています。

# 中村 哲 医師

## 一九八五年度活動報告

'86年6月1日、中村先生が家族とともに帰国されました。ペシャワールでのこの一年の先生の活動をふり返ってみたいと思います。

素適な小屋が10月には完成した。

③ '85年11月、'86年3月

試作

### 一、ライ病患者のためのサンダル製作

① '85年2月、4月

調査

'82年から'84年のライ病の新規登録患者、100名を調査したところ約10%が既に発見時から治療を要する足の障害をかかえていることがわかった。市販のサンダルを買っては、はきつぶし、分解した結果、伝統的な現地のサンダルに古タイヤ等で底をやわらかくするなどの工夫を加えれば、十分患者用サンダルとして通用することがわかった。

④ '86年4月以降

配布体制の確立の試み

生産よりもいかに患者の手元に届けるかが、根気と時間を要する問題である。Lady Reding Hospital (公営の病院) のフィールドオフィサーに各地区の病院の協力を要請する他、患者教育用の現地語のチラシを準備している。

### 二、病棟における診療の改善

① 統計資料の整備、記録の徹底

中村医師が着任した時点では、ミッシェン病院の入院者数や全患者数すら把握されておらず、パンチカードに似せた記録

用紙に全症例について記録させ、必要な病棟としてのニーズを把握するように努めた。

② 衛生観念の指導の徹底、簡単な外科手術の実施

医療器具援助の結果、切断手術、気管切開、皮膚移植等の小外科処置が出来るようになり、'85年10月から'86年4月の間に48例の手術が行われた。また、手術室を四、〇〇〇ルピー(約五万円)で改良した。

③ 理学療法の充実

患者の一人である理学療法助手に研修を受けさせ、変形の手防、リハビリテーション等の理学療法が可能になった。



## 三、アフガン難民患者へのサービス

アフガン難民の数が公式発表のみで200万人を越えている北西辺境州で、未発見未治療のライ病患者がかなり存在することは明らかであったが、これをどうすべきか手つかずの状態であった。'86年に入ってから、新規登録患者のうち半分以上がアフガン人で占められるようになった。彼らの多くは、難民登録からもれ、国際援助にも浴さぬ最悪の状態である。中村医師はアフガン難民医療関係者と共に活動を行なっている。

※この文章は、6月7日YMCAで行なわれた、中村哲帰国報告会の席上で配布された資料『パキスタン・プロジェクト、一九八五年度・活動報告』です。



## 1985 年度決算報告

1985. 4. 1 ~ 1986. 3. 31

## 収入

|                     |             |
|---------------------|-------------|
| 1. 会費・一般寄付          | 3,300,962 円 |
| 2. 指定寄付             | 936,690 円   |
| 3. 事業その他 (ガレージセール等) | 234,349 円   |
| 4. 利息雑収入            | 3,849 円     |
| 5. 前年度繰越            | 4,157,943 円 |
| 計                   | 8,633,193 円 |

## 支出

|                       |               |
|-----------------------|---------------|
| 1. 中村医師へ              | 5,824,100 円   |
| ① 薬品・医療機器の購入          |               |
| ② 中村医師家族の渡航費          |               |
| ③ 理学療法士の研修費           |               |
| ④ 国内活動費               |               |
| ⑤ 靴工場建設費 (溝口先生から指定寄付) | (1,500,000 円) |
| 2. 事業費 (会報発行・発送)      | 696,690 円     |
| 3. 事務費                | 652,295 円     |
| 計                     | 7,173,085 円   |
| 86 年度繰越               | 1,460,108 円   |
| ジープキャンペーン募金額          | 1,168,400 円   |

最近、会員の方々から「JOCSSとはどういう組織なのですか?」とか、「ペシャワール会はJOCSSとどのような関係なのか?」というご質問を受けることがあります。あるいは、「ペシャワール会が中村先生の生活費や医療活動費の全てを受けもっている」と思われていた会員もおられます。そこで、この機会に、中村医師とJOCSS、およびペシャワール会とJOCSSの関係について説明させていただきます。

まず、JOCSSを簡単にご紹介しましょう。正式の名称は「日本キリスト教海外医療協力会」で、約25年前に結成された民間ボランティア団体です。主として東南アジアの保健医療に恵まれない国々に日本から医療従事者を送りだしてきました。そのなかには、

岩村昇医師のように一般の人達にも良く知られたワーカーもいます。最近では、バングラデシュの宮崎亮医師やタイの大森絹子保健婦などの活動が、テレビなどで広く紹介されています。中村を含め、現在12名の医師、看護婦、保健婦などが、ネパール、バングラデシュ、インドネシア、タイそしてパキスタンに派遣されています。日本の民間医療協力団体のなかでは、最も歴史が古く、かつ実績を積んできている組織でもあります。

## JOCSSと ペシャワール会との つながり

「働く人は送るが、金や物は送らない」がJOCSSの基本理念ですので、発展途上にあるアジアの国々からの病院建設資金や医療機器などの供与など、金や物だけの要請には応じず、むしろ、医療従事者の派遣を使命としています。さらに、アジアの国から地域医療に貢献している医療従事者を招へいして、日本で研修を受けられるように援助することも大切な業務としています。このように人的交流によって生れる協力関係を主眼としており、大変地道ではあるが、それのみ協力相手の自立を助けることができるのだと信じています。

JOCSSは会員組織ですので、会員の年会費と寄付が財政の基礎になっています。現在、約七千人の会員がいます(クリスチャンでない会員も多い)。また、大きな資金源になっているのが、使用済み切手です。「ああ、あの古切手の——」と思われる方も多いでしょう。いつも古切手を集めて下さっている方も、随分おられることと思われまます。しかし、会の趣旨から、国や企業からは資金援助を受けていませんので、財政的には決して豊かではありません。

さて、中村医師はJOCSSからの派遣医師ですが、その活動費用がどのようにまかなわれているかについて簡単に説明いたします。まず、中村医

師の生活費、すなわち給料はJOCSSから出ています。その他に、赴任旅費や研修費用などもJOCSSから支給されます。「人は送るが、金や物は送らない」がJOCSSの基本理念ですが、もちろん必要最少限の医療機器などを携えていくことを否定しているわけではありませんので、それらの資材の購入費が必要です。これらの費用として毎年予算が組まれますが、その額は500万円程度です(この中には、様々な経費が入っています)。さらに、この500万円についても、JOCSSは先に述べたように財政が豊かでないというのが実情での支援会にかなり期待しているというのが実情です。

ですから、ペシャワール会としてもJOCSSにできるだけ協力して、中村医師の活動に対して資金的支えを与える努力をしていくことが大きな任務となります。さらに、JOCSSとしては支出しがたい費用、例えば、毎年の中村医師一家の帰国旅費や、今回の靴工場の建設費、ジープの購入費、ライ病棟スタッフの教育費などは、ペシャワール会が支援することになります。今後、中村医師の活動が発展・拡大すれば(それを私達は期待しているわけですが)、経費も大きくなるでしょう。良い仕事をやってもらうためには、これからもペシャワール会が頑張らなくてはいけないということでもあります。

財政的な協力ということ以外でも、ペシャワー

ル会はJOCSSの運営にも参加・協力しています。JOCSSには中村医師の活動のためにパキスタン委員会が作られていて、そこで、プロジェクト全体に関する様々な事項について検討がなされています。そのパキスタン委員会に、ペシャワール会から二人の委員を出しています。さらに、佐藤事務局長が、理事としてJOCSS理事会にも加わり、全体の運営にも参画しています。また、問田会長はJOCSSの顧問でもあります。このように、ペシャワール会とJOCSSとは車の両輪のように、共に中村医師の医療活動が円滑に、かつ効果的に進められるように協力しあう間柄であります。

以上、中村医師とペシャワール会、JOCSS三者の関係を簡単に説明いたしました。

JOCSSへの  
お問い合わせ先

〒160 東京都新宿区西早稲田  
2丁目3-18-23

(社)日本キリスト教海外医療協力会  
(電)〇三―二〇八―二四一六



ご案内

# 中村哲医師講演会

## ペシャワール会1986年度総会

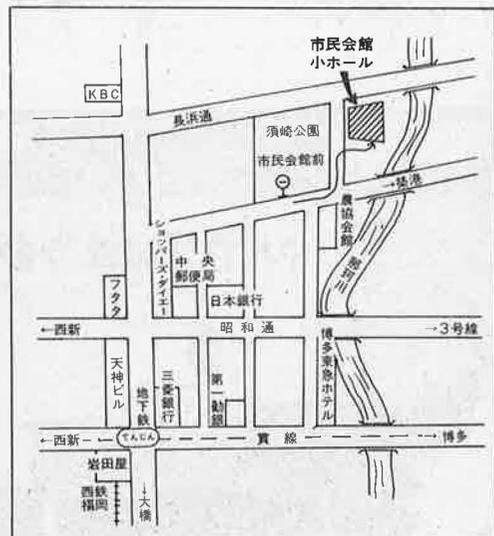
中村医師は、6月1日帰国後、同月20日から8月20日まで韓国にてライ病の外科手術の研修中です。

中村医師の現地での活動、新たな事業である靴工場の設立等の報告を行います。

また、ペシャワール会の活動についてもお話し致しますので、皆様、是非ご出席頂きますようご案内申し上げます。

- ◎ とき 1986年8月30日(出)午後6時30分
- ◎ ところ 福岡市民会館小ホール  
福岡市中央区天神5-1-23  
電話 092-761-6567

- ◎ 主なプログラム
  1. 中村哲医師活動報告
  2. ペシャワール会の活動について
  3. その他



# 中村哲医師 帰国スケジュール

「まず、中村先生、帰国早々過密なスケジュールお疲れ様でした。」

約一年間、ほとんど戦時下といえる苛酷なペシャワールで成果を納め帰国された中村哲医師に対し、学校関係の方々を主として講演の依頼が重なりました。事務局としても、過密なスケジュールで申し訳ないとは思いましたが、折角の依頼とお引受け致しました。その結果、次のように講演会等がなされました。

- 6月1日 帰国
  - 6月4日 西南学院高校
  - 6月5日 西南学院中学・高校・大学。  
Y M C A 英会話学院
  - 6月6日 西南学院高校
  - 6月7日 J O C S パキスタン委員会(東京)  
ペシャワール会帰国報告会(福岡)
  - 6月10日 福岡女学院中学、高校、短大
  - 6月13日 北九州アジアを考える会
  - 6月21日 韓国へ出発
- 中村哲医師は現在、韓国全羅南道麗川郡にある

麗水愛養再活病院にて、ライ病の外科手術をマスターするため研修を受けています。現在の日本国内においては、ライ患者への外科的治療の機会がほとんどなく、国内にてその技術を修得することは、ほとんど不可能です。しかし、ペシャワール一帯では手術を要する患者が多く、ライ病撲滅活動の中心となっている中村哲医師に対し、各方面より技術習得の要請がなされてきました。韓国では現在、さかんに手術がなされており、医療水準も高いため、今回の研修となつたと思います。

「ヘビースモーカーの中村先生、禁酒、禁煙の中で頑張ってください。」

尚、帰国後の予定は次の通りです。(7月1日現在)

- 8月20日 韓国より帰国
- 8月21日 日本キリスト者医科連盟研修会  
～ (岩手県盛岡市)
- 8月24日
- 8月30日 中村哲医師講演会及びペシャワール  
会総会(福岡市民会館小ホールより)
- 9月1日 福岡西ロータリークラブ
- 9月2日 城西ロータリークラブ



9月4日 筑紫女学園中学

9月5日 熊本市での講演会

9月7日以降、単身にてパキスタンへ出発。

中村哲夫妻に今年12月に三人目の子供さんが誕生予定です。そのため今回のペシャワール赴任は単身です。中村先生、頑張ってください。

# ⑥ 事務局の活動報告と

## ガレージセールのお誘い

ペシャワール会事務局では、毎週水曜日、夕方六時半頃から福岡市中央区大名の福岡YMCAで会合を開いています。集まるメンバーも会員有志や、その友人、知人といった人達で、毎回、名簿の整理や会計事務、礼状書き、現地の中村医師との連絡、会報作りなどを行っています。半分は遊びながら、楽しみながらではありませんが……。

特に現在、名簿の整理と会計処理を行なっておりますが、転居等で住所が変更になっていたり、宛名人不明で礼状や会報が戻って来ることもあります。しかし、転居先を調べ、新しい住所へ再び送り届けるということは、今の事務局の人数と体制では、正直なところ手が回らず、会報、その他がお手元に届いていない会員の方もいらっしゃるかと思います。そんな会員の皆様へは、ただただ、頭を下げるのみであります。そして、出来れば引越された時、ハガキでも御一報いただけたら、うれしく思います。

又、会員の皆様が多くなってくると、どういう具合に名簿の整理をしていこうかと、目下、頭を悩ませているところです。一時、パソコンを使おう

うとしていたこともありましたが、事務局専用のパソコンがなく、この案もうまく行きませんでした。今度はカード式にしようかと思案中です。案は色々あるのですが、これから十年は続けて行くであろう事を考えると、簡単には決められず、かと言って早くしないと事務の方に影響が出るし、どなたか名案をお持ちの方はいらっしゃいませんか？

そんなこんなで、毎回ドタバタの会合であります。そんな中からこの春、護国神社でシティ情報「ふくおか」の主催で「ガレージセール」があるという話を会のメンバーが聞きつけて来まして、早速、尻の軽い有志を募り、ペシャワール会として参加致しました。

今回は事前の準備期間が充分でなかった為、佐賀の国立肥前療養所の皆さんや、YMCA関係の方々、事務局のメンバーにお願いしまして、押し入れの奥深く冬眠生活を送っている頂き物の品々や、不用品、手作り品、などを多数供出していただきました。当日は天気にも恵まれ、又、売り手

の腕にも恵まれ、ほとんど全部を売り尽くすことができ、総売り上げ十数万円弱をペシャワール会へ寄付することが出来ました。ペシャワール会のパンフレットや、会報なども配ることが出来ました。品物を出して下さった皆さん、荷物運びを手伝ってくれた九大の学生さん、そして、声を囁らして売りつづけた有志の皆さん、どうも有り難うございました。

そして今、これに味をしめた事務局では、また、十月に開催予定の同ガレージセールへの参加を早々と決めてしまいました。次回はシティ情報「ふくおか」にお願いして、場所をもう少し広く取り、ペシャワール会の会員の皆様にも自由に品物を持って来て売っていただき、それをお志としてペシャワール会に御寄付願いたいと考えております。そして、そこを会員の皆様同志のコミュニケーションの場としたいと思っております。大きい品物を出せる方や、当日都合が悪い方は、ペシャワール会事務局までご連絡下されば取りに行くつもりです。ぜひ、ご一報下さい。

毎週水曜日の会合の方へも、気軽にご参加下さい。お待ちしております。

(担当 末本)

### 会員のみなさまから

☆会報No.8を有難うございました。中村先生のお手紙、ペシャワール通信(7)、邑久訪問記その他とてもとても興味深く拝読致しました。貴重な会報です。

☆私如き貧者の一灯にまでお送り下さって感謝致しております。私の提案ですが、新品に近い古靴をペシャワールに送る会とかいうのを思い立つたら如何でしょうか、型が一寸古い、買っていたけど自分にあわなくなった、子どもが大きくなった、その他いろんな理由で新品同様の靴を捨てきれずにお持ちの方も多いのではないのでしょうか、お役に立てられたらと思います。(残念ながら、私達のはいてる靴を患者に使うことはできません。別の形でサンダル工場の独立採算制をバックアップしていきたいと思えます。—事務局—)

☆会報No.8、12ページのお詫びの件、いろんな受けとり方をする人がいらっしやるんですね。会報を送って頂いて中村先生の御活動やペシャワールを身近に感じ、わずかな金額でもお助けできることをよろこぶ人の方が多いのではないかと思うのは私の思いすごでしょうか。中には自宅に、一時寄付・年会費などの領収書を送るのを厭がる人もいらっしやるから人それぞれのお答え、お立場がおりなんでしょう。何れにしろどうぞがっか

りなさらないで頑張ってください。この運動にたずさわる裏方さんはじめ皆様の御健康と御活躍を祈っております。  
まずは御礼まで

### ご寄付ありがとうございます

ございました

- 北九州アジアを考える会 六〇,〇〇〇
- 若松中央ロータリー 一〇三,〇〇〇
- 報告会募金 一〇,〇九七
- 香住ヶ丘教会 中村哲兄をささえる会 五〇,〇〇〇
- 高松アサ子様 一〇〇,〇〇〇
- 松野尾竹子様 三〇,〇〇〇
- 阿部和子様 一三〇,〇〇〇
- 熊谷和俊様 三〇,〇〇〇
- 渡辺公一郎・裕子様 一〇〇,〇〇〇
- 福岡女学院 一〇〇,〇〇〇
- 馬場繁行様 一〇〇,〇〇〇
- (協賛ゴルフコンペを企画して下さい)
- 福岡西ロータリークラブ 二〇〇,〇〇〇
- 伊東美穂様 四〇,〇〇〇

この欄は、多額の御寄付をお寄せいただいた方を掲載しました。この他にも多くの方々にご協力頂き、どうもありがとうございました。

### やさしくかへれ話

この会報のタイトルの上に小さく「みんなで生きる」(1972年4月……)という文字が入っているのを気付かれています。これは、会報の送料を安くあげようという策で、この会報を日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)の機関誌「みんなで生きる」の附録扱いにして、第三種郵便の取扱いを受けるために入っているのです。帯封は、会報の印刷をしている所から、いろいろな包装紙をカットしてもらったもの。発送作業は香住ヶ丘教会の皆さんの協力によるものです。

### ◆お知らせ◆

事務局から  
中村医師へのご支援ありがとうございます。  
福岡YMCAの窓口で、ご入金下さった方の中で、お住まいをお知らせいただけなかった方がおいでです。  
お礼状と、今後会報をお送りしたく存じますので、事務局までご一報下されば幸いです。

\* \* \*